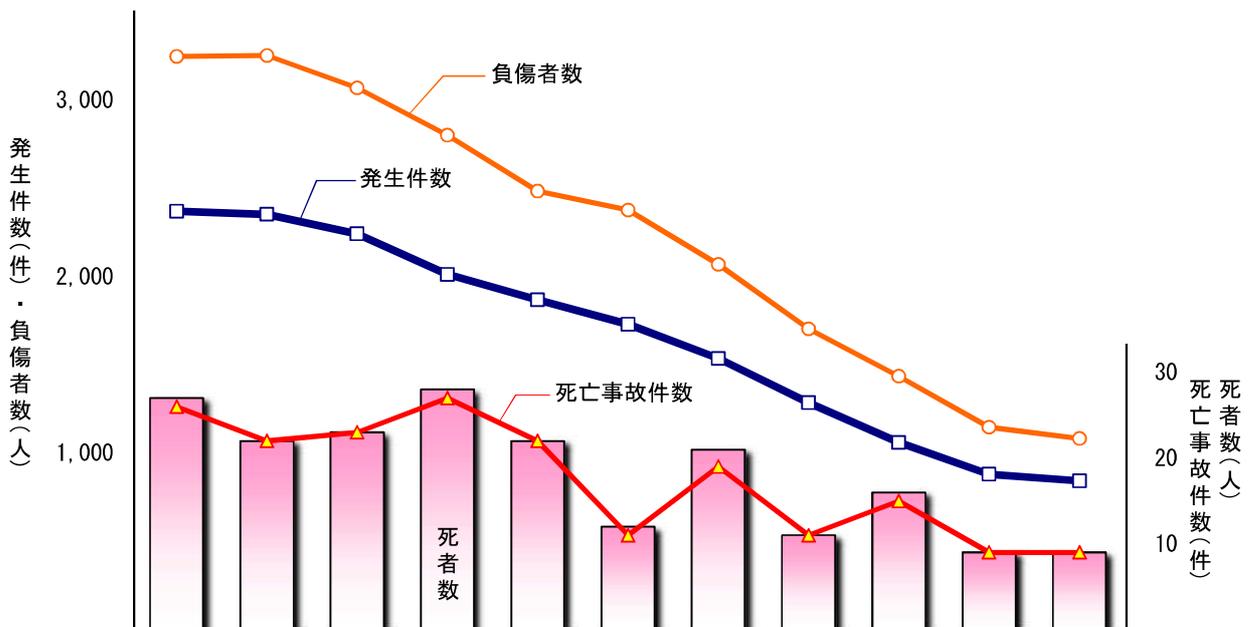


第9 青少年運転者による交通事故

1 推移(平成23年～令和3年)

免許人口が緩やかに減少しているのと同様、発生件数は平成13年から21年連続で減少しています。死亡事故件数も同様、減少傾向で推移しています。

令和3年は発生件数、死亡事故件数(令和2年と同数)とも、統計資料の残る昭和56年以降で最少となりました。



	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
発生件数	2,371	2,353	2,242	2,012	1,868	1,730	1,537	1,286	1,060	880	843
構成率	15.8	16.0	16.9	16.1	16.1	16.5	15.9	14.8	14.2	14.5	14.2
死亡事故件数	26	22	23	27	22	11	19	11	15	9	9
構成率	15.9	15.8	14.3	20.9	16.2	7.5	13.6	9.0	14.3	10.7	11.4
死者数	27	22	23	28	22	12	21	11	16	9	9
構成率	16.0	15.5	14.1	21.2	15.7	8.0	14.7	9.0	15.0	10.7	11.3
負傷者数	3,248	3,253	3,069	2,801	2,485	2,378	2,069	1,704	1,435	1,147	1,083
構成率	16.6	16.7	17.8	17.0	16.4	17.7	16.8	15.5	15.3	15.4	15.0
青少年免許人口	169,403	165,377	160,969	157,375	154,354	151,835	149,707	147,136	143,398	141,887	140,707
構成率	8.3	8.1	7.8	7.6	7.5	7.4	7.3	7.2	7.0	6.9	6.9

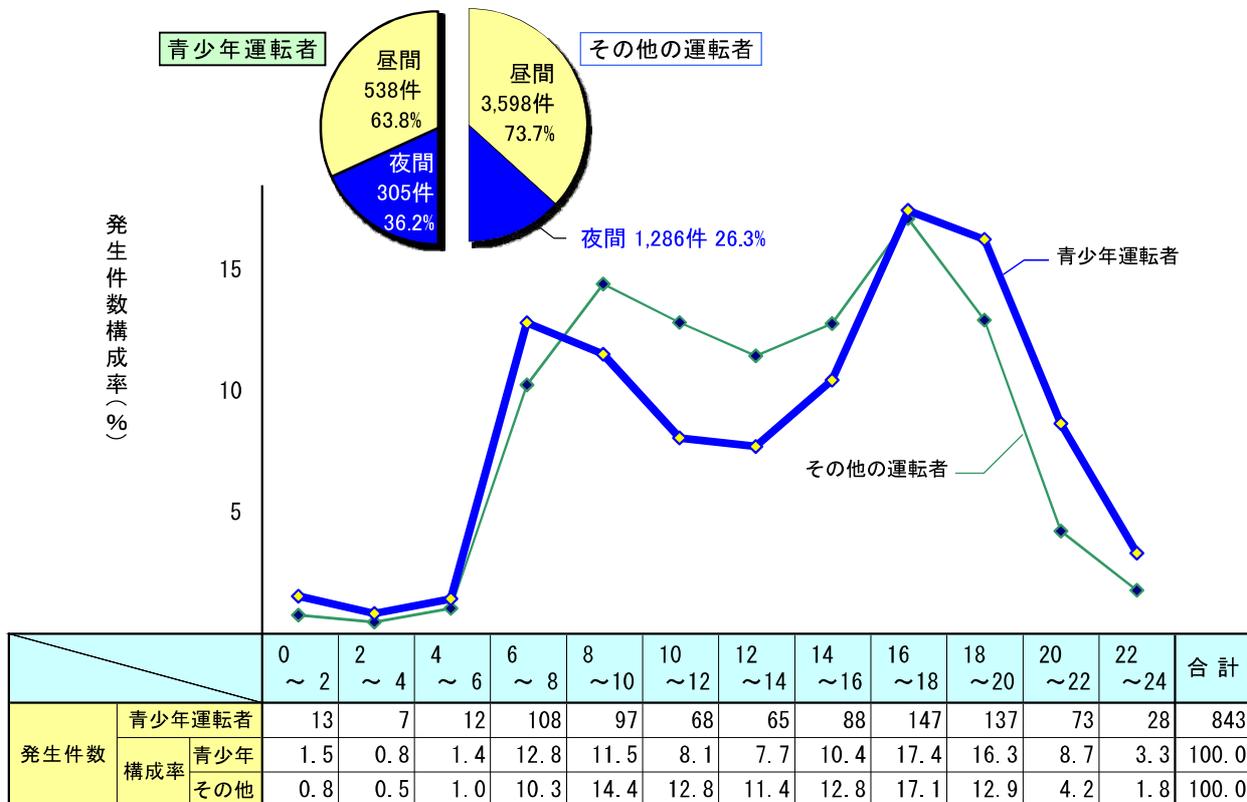
※1 「発生件数」は、原付以上の車両を運転する青少年(16～24歳)が第1当事者となった交通事故の件数で、「死亡事故件数」は内数である。
 ※2 「死(負傷)者数」は、前記交通事故による全ての死(負傷)者数をいい、青少年運転者本人の死傷を含む。
 ※3 発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数の「構成率」は、全交通事故(発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数)に占める割合とした。
 ※4 青少年免許人口は茨城県警察資料(各年12月31日現在)で、「構成率」は全免許人口に占める割合とした。

2 時間・昼夜別

発生件数は昼間が63.8%を占め、時間別では「16～18時」が最も多くなっています。

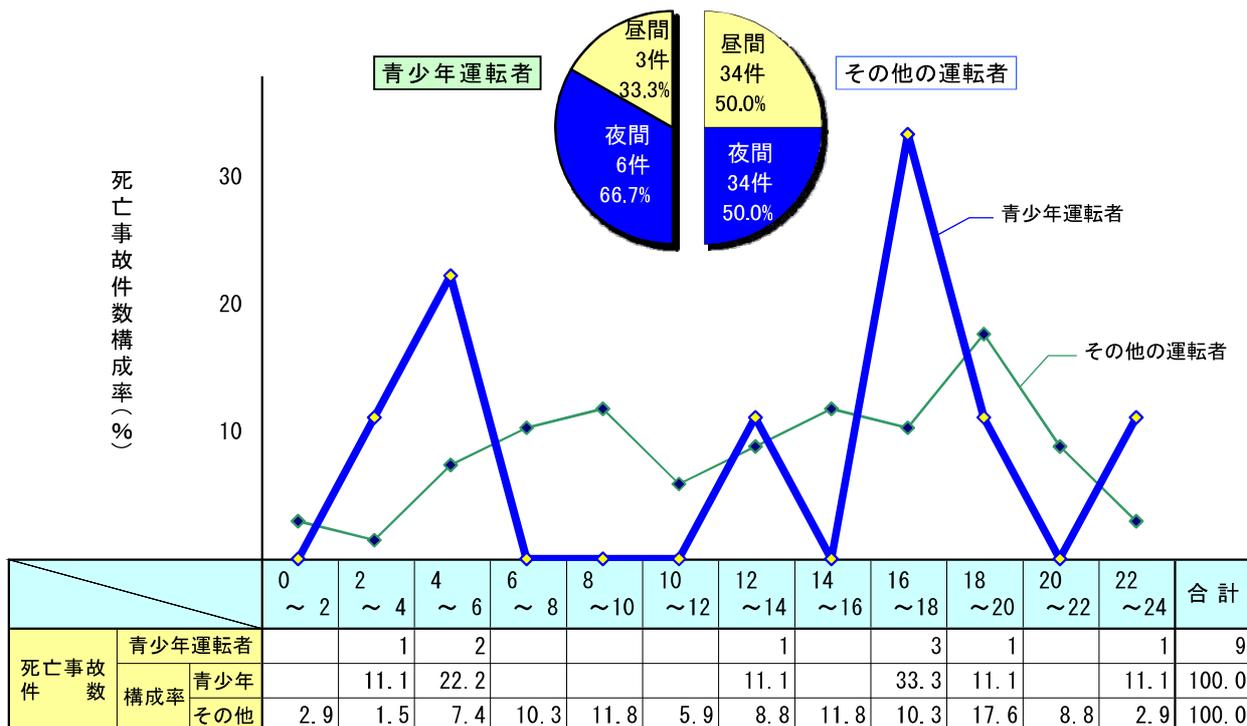
死亡事故件数の構成率では、夜間が66.7%を占め、時間別では「16～18時」が最も多くなっています。

発生件数、死亡事故件数とも、「その他の運転者」に比べ、「夜間」の割合が高くなっています。



※1 「その他」とは青少年運転者以外の運転者で、「ひき逃げ・不明」、「自転車」、「歩行者」等は含まない。

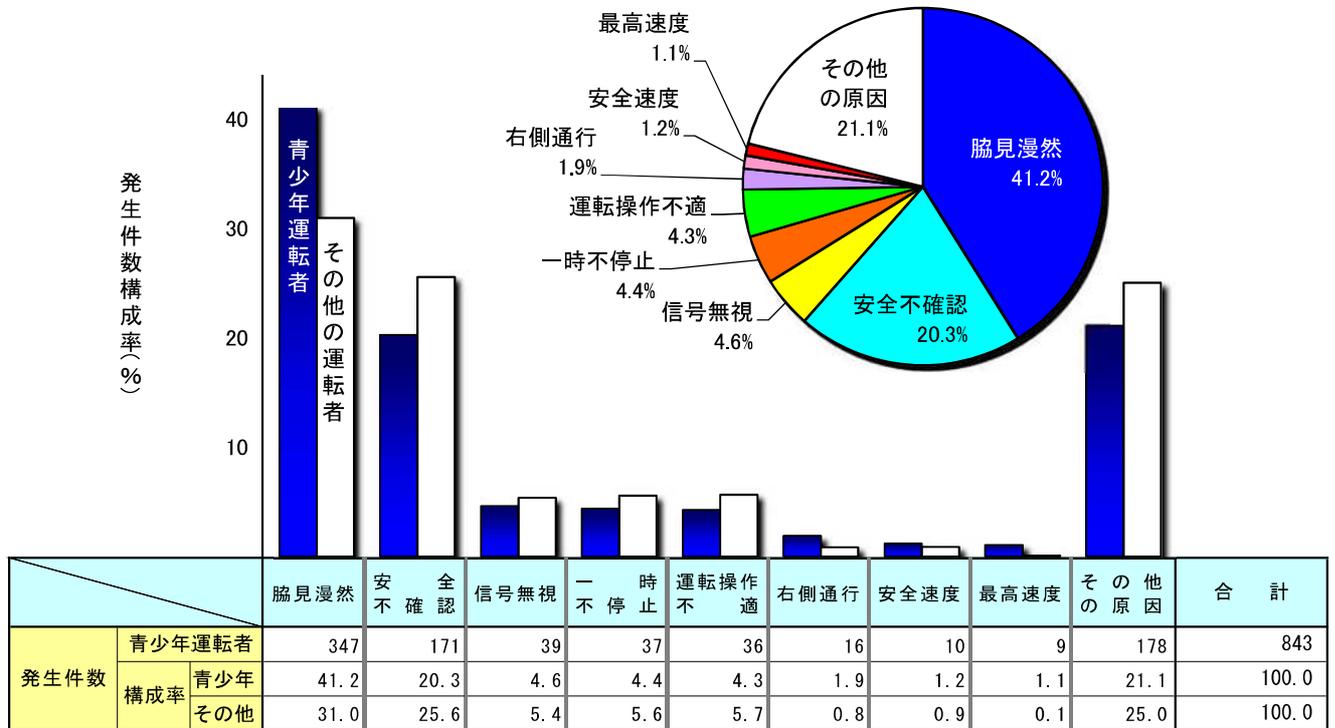
2 昼夜の区分は、日の出、日没時刻を基準とした。



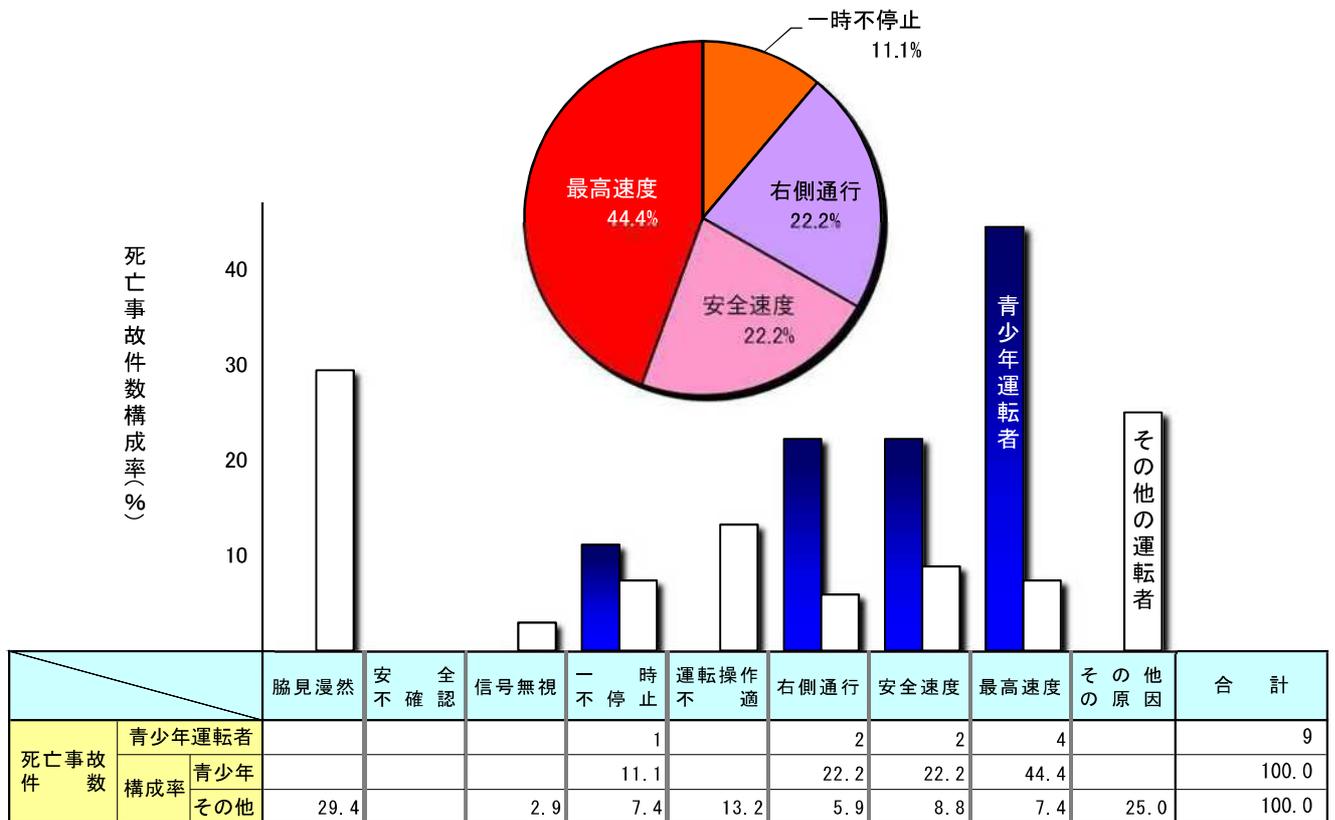
3 原因別

発生件数は「脇見漫然」、死亡事故件数は「最高速度」が最も多くなっています。

死亡事故件数の構成率では、「その他の運転者」に比べ「最高速度」が37.0ポイント高く、一方「脇見漫然」は29.4ポイント低くなっています。



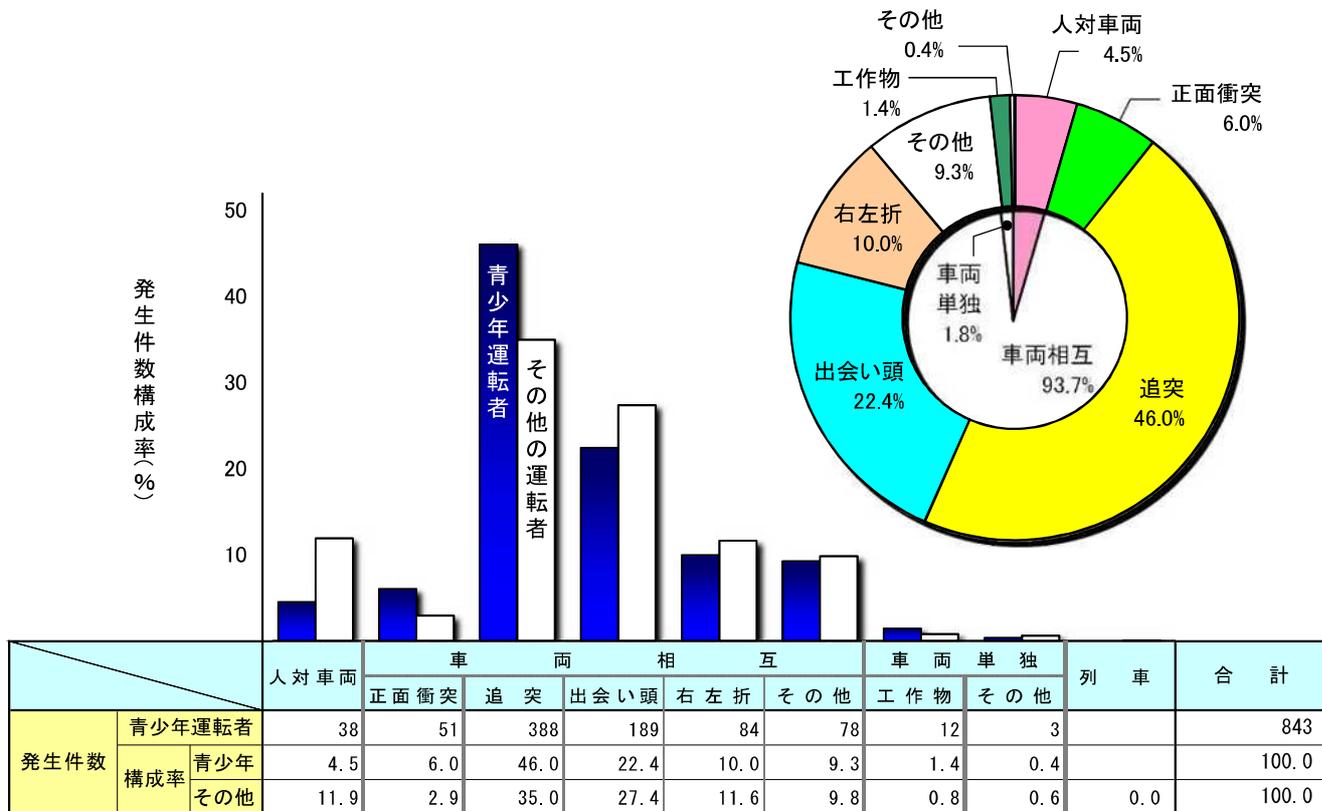
※「その他」とは青少年運転者以外の運転者で、「ひき逃げ・不明」、「自転車」、「歩行者」等は含まない。



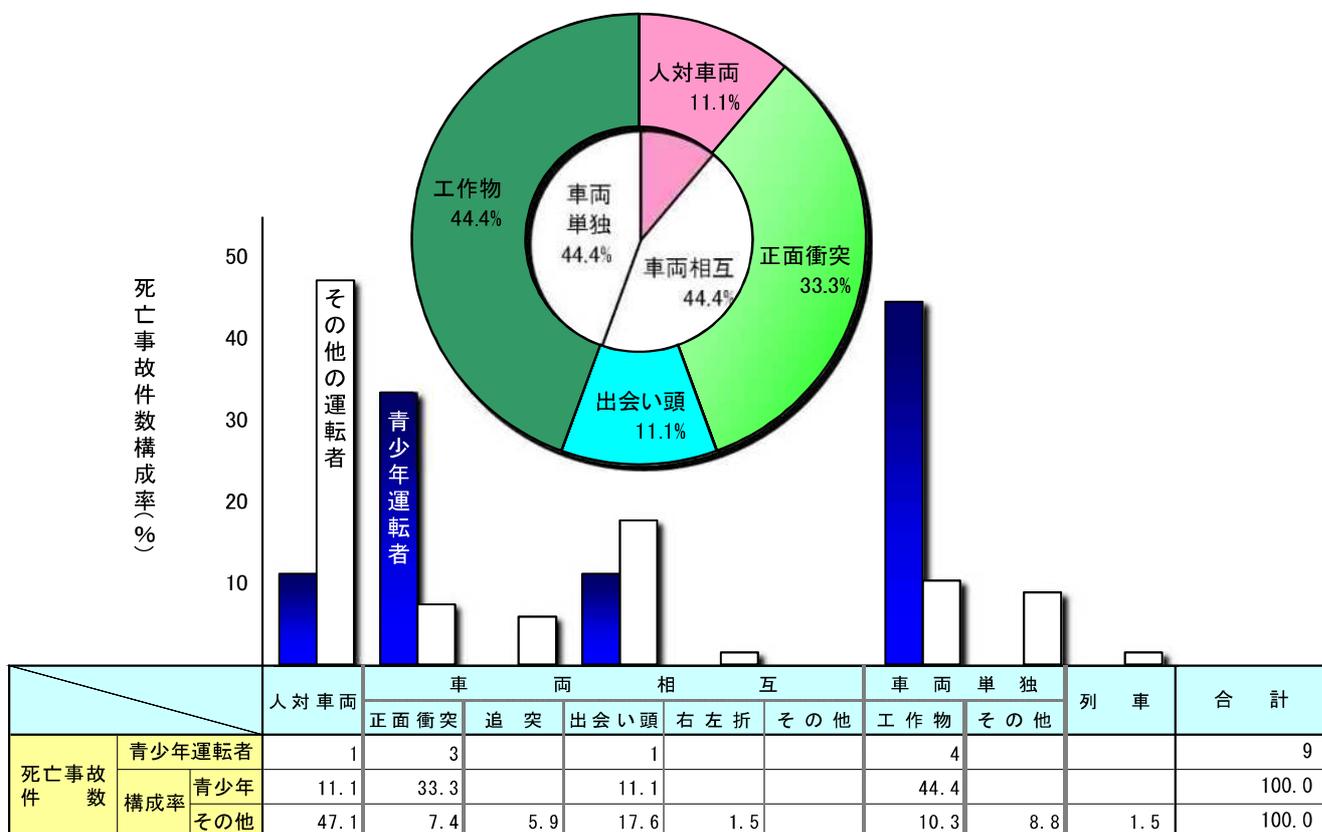
4 事故類型別

発生件数は「追突」、死亡事故件数では「工作物」が最も多くなっています。

死亡事故件数の構成率では、「その他の運転者」に比べ「工作物」が34.1ポイント高く、一方「人対車両」は36.0ポイント低くなっています。



※「その他」とは青少年運転者以外の運転者で、「ひき逃げ・不明」、「自転車」、「歩行者」等は含まない。



5 免許経過年数別

発生件数は「1年未満」が最も多く、「3年未満の合計」では、全体の62.8%を占めています。
 死亡事故件数は「1年未満」・「5年未満」が各3件となっています。

	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	5年以上	無免許等	仮免許 国際免許	合計
発生件数	201	179	149	110	104	86	14		843
構成率	23.8	21.2	17.7	13.0	12.3	10.2	1.7		100.0
死亡事故件数	3		1		3	2			9
構成率	33.3		11.1		33.3	22.2			100.0

